

令和7年度 第1回刈谷市在宅医療・介護連携推進協議会 議事録

日時：令和7年5月14日(水) 13:30～14:30

場所 市役所101会議室

出席者

○	医師会【会長】 加藤 聡之	○	医師会 松本 和幸	×	歯科医師会 宮田 泰
○	薬剤師会 野村 圭吾	○	刈谷豊田総合病院 平松 敬明(代理)	○	社会福祉協議会 福ヶ迫 幸江
○	訪看連絡協議会 吉里 朋子	○	療法士連絡会 山口 裕一	○	ケアマネ連絡会 大杉 亜紗子
○	県歯科衛生士会 太田 由紀子	○	衣浦東部保健所 辻 真弓	○	包括支援センター 大内 美穂子

1 開会

2 委員及び事務局職員紹介

割愛

3 議題

(1) 在宅医療・介護連携推進事業について

① 在宅医療・介護連携推進事業の目的

(事務局より説明) 資料1参照

② 本市の進め方について

(事務局より説明) 資料1参照

(2) 今回の協議事項について

① 令和6年度の事業実績報告と令和7年度の事業計画について

(事務局より説明) 資料1参照

【会長】体制づくりの目的としては、患者へ適切なサービスが提供できたというところである。サービスが提供できて、患者がどのようにクオリティが上がったかの検証はどのように考えているか。

【事務局】事業をやった結果に対して患者にどう結びついたかをはかるような取組はできていないのが現状である。結果的にどうなったかをはかるようなものは考えていかなければならないとは感じている。

【会長】現場で、患者と家族に接している中で、患者に還元されて効果が出ているという実感があまりない。現場でどう実感できるか、現場できちんとサービスが提供できて、上手くいっているなど感じられるようになりたい。体制だけではなく、どういう風な効果が出るかということを目標として捉えておくことが大事。検証は数字で表せるような簡単なものではないが、体制づくりのその先にもアンテナをはって分かるような状況にしておくのと良いと感じた。

- ② 各団体の令和6年度の事業実績報告と令和7年度の事業計画について
(別添1参照)

【会長】在宅医療・介護連携相談支援センターの相談内容にある、麻薬・痰吸引・腹水穿刺が可能な医療機関とあるが、データを持っているのか？

【豊田会】地域連携のデータベース上で一部持っている。情報が網羅できている訳ではない。一つ一つのクリニックに確認して情報をキャッチしている状況。

- ③ えん joy ネット刈谷について

【会長】登録事業所のその他についてはどういったところがあるか。配食サービスや介護タクシーなど、対応が難しかった事例について経験があったため、普段あまり声をあげられない方たちにもアンケートをお願いできると良いと感じた。

「えん joy ネット刈谷」の利活用に関するアンケート調査実施については、承認。

(3) 報告事項

刈谷豊田と介護支援専門員との連携マニュアル改訂について
(事務局より説明)

【会長】改訂は大きく何か変わっているのか。

【事務局】診療報酬改定に合わせた内容と、入退院連携シートについてACPに関する項目を入れた。

【豊田会】連携マニュアルの連携シートについて、内容は変わっているか。ホームページ上のデータを修正する必要があるため、現状どうなっているか。

【事務局】刈谷豊田総合病院と介護支援専門員の会議内で検討し、大きく修正している。4月中旬にデータ修正の話がありましたが、現在は新しいものに更新されている。

4 その他

- ① 次回の協議会の予定

日 時 令和8年1月21日(水) 午後1時30分～
場 所 刈谷市役所1階 101会議室